

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 発行者/和田ハツ江
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
 http://www.rosario.jp
 Eメールアドレス
 honbu@rosario.jp

社会福祉法人ロザリオの聖母会 平成19年度事業・決算報告書

I 事業の概要

1. 概括

支援費制度に代わる制度として制定された「障害者自立支援法」は、18年4月からその第一段階として利用者の定率負担や食費等自己負担制度が、10月からは新体系事業への移行が開始され、本会では障害福祉サービス事業に位置づけられるケアホーム・グループホーム、居宅介護、短期入所等、また、市町村事業である相談支援事業、日中一時支援事業等について、それぞれ県から指定を受けることになった。

新法施行2年目に当たる19年4月には、聖マリアデイサービスセンター、聖家族作業所の2施設が生活介護事業所として県の指定を受けて新体系事業に移行する形になった。

また、市町村事業である相談支援事業と地域活動支援センターI型を旭障害者支援センターと友の家がそれぞれ旭市から受託し、2月に受託した香取障害者支援センターと合わせて3事業所が相談系事業を展開することになった。

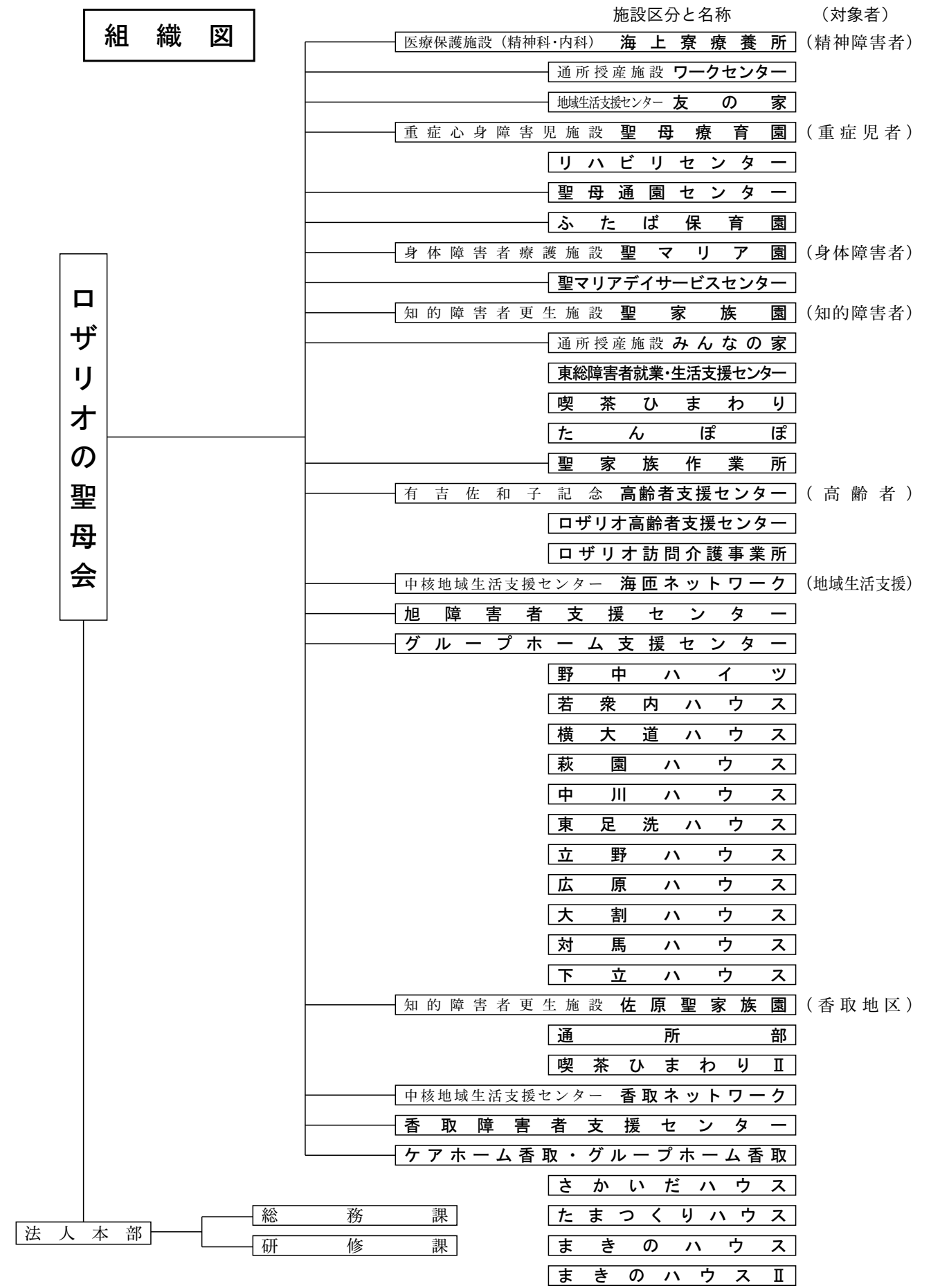
同じく4月より障害者の就労促進を目的とする障害者就業・生活支援事業を国と県から受託して、東総障害者就業・生活支援センターをJR八日市場駅前開設することになった。

このような事業展開の陰で、法制度の激変による施設経営の厳しさや利用者の置かれた立場は相変わらずのものであり、施設の所属団体や当事者団体から新法見直しへの要望を厚生労働省に訴え続ける状況は変わらなかった。

社会保障費の削減を目的として行われる諸制度の改革は、本質的に障害者や国民の目的とは齟齬をきたすものであり、年金問題への不信感も相まって7月の参議院選挙で与党が大敗したのはある意味必然とも言える現象であった。

選挙以降、障害者自立支援法見直しの声が与党内部から挙がるようになり、与党障害者自立支援に関するプロジェクトチームが「障害者自立支援法の抜本的見直し(報告書概要)」を12月7日付で提起し、それに促されて厚生労働省は年末に「障害者自立支援法の抜本的見直しに向けた緊急措置」を発表するに至った。

III 事業の概要 (平成20年7月1日現在)



これは精神障害者通所授産施設ワークセンターで印刷しました。

(2)

単位：円

勘定科目	聖マリアデイサービスセンター	聖家族園	東総障害者就業・生活支援センター	聖家族作業所	ロザリオ訪問介護事業所	海匠ネットワーク	旭障害者支援センター	ケアホーム旭・グループホーム旭
授産事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0
授産事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0
授産事業活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動収入計	57,101,792	207,492,061	18,172,801	69,646,239	44,461,134	30,767,538	5,928,149	79,027,709
福祉事業活動支出計	41,061,991	189,472,780	19,087,331	61,210,532	39,193,607	30,736,562	7,215,140	67,713,027
福祉事業活動収支差額	16,039,801	18,019,281	△914,530	8,435,707	5,267,527	30,976	△1,286,991	11,314,682
事業活動外収入計	157,826	947,950	1,550,018	0	0	0	1,153,504	11,820,000
事業活動外支出計	258,522	1,694,949	310,273	126,377	0	0	0	631,835
事業活動外収支差額	△100,696	△746,999	1,239,745	△126,377	0	0	1,153,504	11,188,165
経常収支差額	15,939,105	17,272,282	325,215	8,309,330	5,267,527	30,976	△133,487	22,502,847
特別収入計	0	690,000	0	600,000	0	0	817,000	0
特別支出計	0	725,463	0	0	135,940	68,818	817,000	0
特別収支差額	0	△35,463	0	600,000	△135,940	△68,818	0	0
当期活動収支差額	15,939,105	17,236,819	325,215	8,909,330	5,131,587	△37,842	△133,487	22,502,847
前期繰越活動収支差額	6,923,956	26,898,782	0	29,192,856	18,591,584	4,372,045	0	27,929,433
当期末繰越活動収支差額	22,863,061	44,135,601	325,215	38,102,186	23,723,171	4,334,203	△133,487	50,432,280
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0
基本金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額	350,392	△16,234,793	0	0	△570,920	0	0	22,356,829
その他の積立金積立額	0	△3,884,810	0	5,000,000	0	0	0	10,884,810
次期繰越活動収支差額	23,213,453	31,785,618	325,215	33,102,186	23,152,251	4,334,203	△133,487	61,904,299

(3)

単位：円

勘定科目	佐原聖家族園	香取ネットワーク	香取障害者支援センター	ケアホーム香取・グループホーム香取	ワークセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者支援センター
授産事業活動収入計	0	0	0	0	11,570,029	37,061,859	0
授産事業活動支出計	0	0	0	0	7,842,776	35,796,372	0
授産事業活動収支差額	0	0	0	0	3,727,253	1,265,487	0
福祉事業活動収入計	223,516,433	30,314,800	5,945,300	20,133,256	27,326,945	67,643,883	9,726,260
福祉事業活動支出計	202,930,859	29,780,807	6,670,502	16,650,861	24,715,092	58,184,762	11,290,618
福祉事業活動収支差額	20,585,574	533,993	△725,202	3,482,395	2,611,853	9,459,121	△1,564,358
事業活動外収入計	784,873	0	1,000,000	2,709	7	0	1,000,000
事業活動外支出計	1,260,811	0	0	0	155,030	119,672	0
事業活動外収支差額	△475,938	0	1,000,000	2,709	△155,023	△119,672	1,000,000
経常収支差額	20,109,636	533,993	274,798	3,485,104	6,184,083	10,604,936	△564,358
特別収入計	0	0	937,000	0	0	0	0
特別支出計	55,091	97,663	937,000	0	0	112,878	0
特別収支差額	△55,091	△97,663	0	0	0	△112,878	0
当期活動収支差額	20,054,545	436,330	274,798	3,485,104	6,184,083	10,492,058	△564,358
前期繰越活動収支差額	△17,801,573	733,767	41,713	2,482,934	26,283,760	33,997,868	△382,181
当期末繰越活動収支差額	2,252,972	1,170,097	316,511	5,968,038	32,467,843	44,489,926	△946,539
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0
基本金繰入額	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額	0	0	0	0	0	570,920	0
その他の積立金積立額	8,000,000	0	0	0	0	7,000,000	0
次期繰越活動収支差額	△5,747,028	1,170,097	316,511	5,968,038	32,467,843	38,060,846	△946,539

与党の見直し案では、

○障害者自立支援法の抜本的な見直しと緊急措置の実施

○介護保険との統合を断念

○利用者負担について、応益的負担を改め、低所得者の負担軽減など負担の応能的な性格を高める
○良質な人材確保と経営基盤の安定を図るためサービス費用（報酬）の額の改定を実施等の事項が提起され、厚生労働省発表の緊急措置の内容は概ね次のとおりであった。

○利用者負担の見直し

○通所系報酬単価の約4%引き上げと定員を超えた受け入れ人数の緩和

○児童デイサービスへの助成

○グループホーム等への整備促進

今後われわれは厚生労働省で検討される抜本的見直しの内容を注視して、生かせるものは生かしながら施設運営に反映していくことになるが、手段としての制度改革（抜本的見直し）が障害者や事業者の目的を正当化できるかどうか推移を見守る必要がある。

また医療の分野でも経営問題や医師不足による病院閉鎖、病床削減などが全国的規模で拡大し、救急医療の問題、都市部と地方との医療格差の問題等が顕在化するようになった。本会周辺でも、銚子市立病院が精神科病棟を縮小したほか、成東病院、県立東金病院でも診療科目を縮減するなどの傾向が見られた。中でも医師不足の波は本会にも押し寄せてきており、病院経営の根幹に関わる最重要課題となっている。

運営面に眼を向けると、厳しい経営環境の中で4月の定期昇給を実行したが、昇給分を担保する収入増が見込めないために夏季賞与支給月数を減じる措置をとらざるを得なかった。この判断には経営指標となる経年変動比較損益計算書や人件費比率、労働分配率といった数値が材料となったが、これは本会の人事賃金制度構築に関与した経営コンサルタントのアドバイスによるものであった。

また、広報ロザリオ編集委員会が行った職員アンケートに寄せられた意見はいろいろな意味で中堅職員の実像を浮かび上がらせるものであり、その中で多く挙げられた事項（人事考課の適正運用に関すること）に対しては7月に目標設定研修会、9月に考課者訓練を行うなどして改善に向け努力した。

人事考課は導入2年目を迎えて形式的には円滑に遂行されるようになってきているが、平均点が上昇傾向にあり個人絶対評価がBランクでも職能層別相対評価ではBを下回るなどの問題点が生じたり、一部に等級フレームや課業一覧表の基準を超えた主観的な考課がみられたりするなど、考課者の判断、考え方の統一化が課題となってきている。

処遇面では、11月にロザリオの聖母会福祉サービス共通基準を基に自己評価を行い、また施設では利用者に対するアンケート調査を実施して問題や課題の掘り起こしに努めるなどしてサービスの質向上に努めた。

労務管理面では、平成20年4月のパートタイム労働法改正に向けて、「ロザリオの聖母会改正パートタイム労働法対応指針」を策定して新法に対応できるよう準備した。また、3年間の行動計画を終了する次世代育成支援行動計画の第二期計画を策定した。

その他、全体の職員数抑制の中で、直接処遇職員の常勤比率が下がりパート職員の比率が高くなるという傾向はさらに進み、全職員の半数近くが非常勤職員という状況になった。そのため非常勤職員の給与体系を見直して定期的、公平な昇給を実施するとともに、人事考課制度の適用についても検討し、10月には非常勤職員に対する第1回人事考課を行うに至った。

また、教育という側面からも非常勤職員への配慮が重要であることから、今年度は4回に渡って非常勤職員研修を実施した。

最後に、いまだかつてない世界的大流行が懸念される新型インフルエンザに対しては、利用者の生命に関わる緊急かつ最重要課題として取り組む必要に迫られ、本会では平成20年2月に急きょ新型インフルエンザ対策委員会を立ち上げ検討を開始した。

2. 法人概要

- 2-1 法人所在地 千葉県旭市野中4017
2-2 法人設立年月日 昭和27年5月29日
2-3 敷地面積 102,737.79㎡ (前年度102,737.79㎡) 約31,132坪
2-4 建物面積 24,076.45㎡ (前年23,974.47㎡) 約7,296坪
2-5 施設・事業所数 21カ所
(1) 入所施設 5カ所
(2) 通所施設 6カ所
(3) 在宅・訪問系事業所 8カ所
(4) ケアホーム・グループホーム 2カ所
2-6 利用者数 (一日あたり利用者数) 746.0人 (前年度690.1人)
(1) 入所施設 425.0人 (前年度427.3人)
(2) 通所施設 126.7人 (前年度127.3人)
(3) 在宅・訪問系事業所 128.3人 (前年度89.5人)
(4) ケアホーム・グループホーム 66人 (前年度46人)
2-7 職員数 501人 (前年度480人)
(1) 常勤 273人 (前年度261人)
(2) 非常勤 228人 (前年度219人)

3. 19年度重点目標実施報告

- 3-1 新法施行2年目を機に、経営安定化とサービスの質向上との調和に努めた
3-2 人事考課制度の定着・活用をとおして、職員の育成と意欲向上を図った
3-3 創業60年にあたり、諸事業を通じて法人一体感を醸成するよう努めた

II 決算報告書

1. 貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

単位：円

Table with columns for assets (流動資産, 固定資産) and liabilities (流動負債, 固定負債), including sub-totals for net assets and total assets/liabilities.

(3)

単位：円

Table showing detailed financial activities categorized by department (e.g., 授産事業活動, 福祉事業活動, 施設整備等) and activity type (収入計, 支出計, 収支差額).

5. 事業活動収支内訳表 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(1)

単位：円

Table showing detailed breakdown of business activity income and expenses across various departments like 法人本部, 海上療養所, 友の家, etc.

4. 資金収支決算内訳表 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(1)

単位：円

勘定科目	法人本部	海上療養所	友の家	聖母療育園	聖母療育園 介護保険	聖母通園センター	ふたば保育園	聖マリア園
授産事業活動による収支								
授産事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0
授産事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0
授産事業活動資金収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動による収支								
福祉事業活動収入計	426,843,662	972,532,527	27,971,540	498,215,211	549,199	40,175,482	12,901,011	257,699,664
福祉事業活動支出計	354,793,847	839,914,098	22,402,105	420,296,996	549,199	38,401,869	12,017,031	219,004,254
福祉事業活動資金収支差額	72,049,815	132,618,429	5,569,435	77,918,215	0	1,773,613	883,980	38,695,410
施設整備等による収支								
施設整備等収入計	0	0	1,000,000	5,729,130	0	0	1,732,431	0
施設整備等支出計	216,300	1,820,525	1,082,770	2,830,095	0	0	1,293,075	349,850
施設整備等資金収支差額	△216,300	△1,820,525	△82,770	2,899,035	0	0	439,356	△349,850
財務活動による収支								
財務活動収入計	8,980,000	0	0	0	0	505,000	0	2,500,000
財務活動支出計	46,056,618	72,703,625	246,250	66,288,875	0	1,359,250	67,500	39,171,250
財務活動資金収支差額	△37,076,618	△72,703,625	△246,250	△66,288,875	0	△854,250	△67,500	△36,671,250
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額	34,756,897	58,094,279	5,240,415	14,528,375	0	919,363	1,255,836	1,674,310
前期末支払資金残高	220,971,478	264,340,443	4,510,435	129,196,814	0	1,280,148	2,004,891	96,923,270
当期末支払資金残高	255,728,375	322,434,722	9,750,850	143,725,189	0	2,199,511	3,260,727	98,597,580

2. 資金収支計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

単位：円

勘定科目	予算	決算	差異
授産事業活動による収支			
授産事業活動収入計	48,959,311	48,631,888	327,423
授産事業活動支出計	44,601,240	43,639,148	962,092
授産事業活動資金収支差額	4,358,071	4,992,740	△634,669
福祉事業活動による収支			
福祉事業活動収入計	3,109,668,974	3,120,602,158	△10,933,184
福祉事業活動支出計	2,708,558,933	2,662,522,310	46,036,623
福祉事業活動資金収支差額	401,110,041	458,079,848	△56,969,807
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	11,728,685	11,505,561	223,124
施設整備等支出計	22,354,415	21,045,145	1,309,270
施設整備等資金収支差額	△10,625,730	△9,539,584	△1,086,146
財務活動による収支			
財務活動収入計	17,485,000	17,485,000	0
財務活動支出計	311,751,005	311,445,623	305,382
財務活動資金収支差額	△294,266,005	△293,960,623	△305,382
予備費	100,576,377	0	100,576,377
当期資金収支差額	0	159,572,381	△159,572,381
前期末支払資金残高	0	975,851,717	△975,851,717
当期末支払資金残高	0	1,135,424,098	△1,135,424,098

(2)

単位：円

勘定科目	聖マリアデイサービスセンター	聖家族園	東総障害者就業・生活支援センター	聖家族作業所	ロザリオ訪問介護事業所	海匠ネットワーク	旭障害者支援センター	ケアホーム旭・グループホーム旭
授産事業活動による収支								
授産事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0
授産事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0
授産事業活動資金収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動による収支								
福祉事業活動収入計	55,485,961	195,217,044	19,722,819	67,947,209	44,461,134	30,767,538	7,070,504	89,962,933
福祉事業活動支出計	38,941,826	175,248,852	19,265,854	57,164,476	38,882,312	29,784,957	7,116,769	63,325,451
福祉事業活動資金収支差額	16,544,135	19,968,192	456,965	10,782,733	5,578,822	982,581	△46,265	26,637,482
施設整備等による収支								
施設整備等収入計	0	690,000	0	600,000	0	0	817,000	0
施設整備等支出計	7,653,850	1,634,565	0	0	0	135,450	817,200	0
施設整備等資金収支差額	△7,653,850	△944,565	0	600,000	0	△135,450	△200	0
財務活動による収支								
財務活動収入計	500,000	2,500,000	0	0	0	0	0	0
財務活動支出計	2,760,557	21,383,957	131,750	9,271,446	186,000	298,625	87,000	15,619,058
財務活動資金収支差額	△2,260,557	△18,883,957	△131,750	△9,271,446	△186,000	△298,625	△87,000	△15,619,058
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額	6,629,728	139,670	325,215	2,111,287	5,392,822	548,506	△133,465	11,018,424
前期末支払資金残高	18,179,373	65,488,684	0	32,084,427	17,512,531	2,495,884	0	19,184,508
当期末支払資金残高	24,809,101	65,628,354	325,215	34,195,714	22,905,353	3,044,390	△133,465	30,202,932

3. 事業活動収支計算書

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

単位：円

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
授産事業活動収支の部			
授産事業活動収入計	48,631,888	50,441,365	△1,809,477
授産事業活動支出計	43,639,148	47,140,294	△3,501,146
授産事業活動収支差額	4,992,740	3,301,071	1,691,669
福祉事業活動収支の部			
福祉事業活動収入計	2,841,281,435	2,668,310,872	172,970,563
福祉事業活動支出計	2,484,604,308	2,440,252,753	44,351,555
福祉事業活動収支差額	356,677,127	228,058,119	128,619,008
事業活動外収支の部			
事業活動外収入計	343,257,287	349,453,249	△6,195,962
事業活動外支出計	348,542,283	355,682,984	△7,140,701
事業活動外収支差額	△5,284,996	△6,229,735	944,739
経常収支差額	356,384,871	225,129,455	131,255,416
特別収支の部			
特別収入計	11,505,561	3,865,000	7,640,561
特別支出計	7,248,829	3,814,439	3,434,390
特別収支差額	4,256,732	50,561	4,206,171
当期活動収支差額	360,641,603	225,180,016	135,461,587
繰越活動収支差額の部			
前期繰越活動収支差額	1,249,748,904	1,042,428,888	207,320,016
当期末繰越活動収支差額	1,610,390,507	1,267,608,904	342,781,603
基本金取崩額	0	0	0
基本金繰入額	0	0	0
その他の積立金取崩額	6,480,000	12,275,348	△5,795,348
その他の積立金積立額	211,595,000	30,135,348	181,459,652
次期繰越活動収支差額	1,405,275,507	1,249,748,904	155,526,603